

2009年度

科目名	文献学		
担当教員	井上 新子		
配当	日文2	コード	44140
開期	後期	講時	木曜日4限
単位数	2		
授業テーマ	古典文学の本文		
目的と概要	古典文学の本文をめぐる諸問題について考察する。はじめに、いくつかの作品の事例に触れながら、本文研究に関する用語や方法などの基礎知識をおさえる。これをふまえ、『堤中納言物語』中の一編「このついで」と『狭衣物語』(抜粋)を、本文異同に留意しながら読解する。対照的であるとも言えるおのおのの現存伝本の様相とその要因を見つめてみたい。		
成績評価法	平常点(講義時の課題への取り組み・発言等)(45%)、レポートの成績(55%)を勘案し、評価する。		
テキスト	プリント配布。		
参考書	講義内で、適宜紹介。		
履修に当たっての注意・助言	「このついで」を読む際には、担当範囲を決め、伝本の本文異同を調べる作業を行うことを予定している。		
講義計画			
第1回 「文献学」について—「文献学」とは何か。現行活字本と原典、写本の関係。 第2回 古典作品の本文異同の実際とその要因 第3回 本文復原の手がかり 第4回 和書についての基礎知識—さまざまな本のかたち。本をかたちづくるもの。 第5回 『堤中納言物語』について—概説、作業の説明。 第6回 『堤中納言物語』「このついで」を読む(1) 第7回 『堤中納言物語』「このついで」を読む(2) 第8回 『堤中納言物語』「このついで」を読む(3) 第9回 『堤中納言物語』「このついで」を読む(4) 第10回 『堤中納言物語』「このついで」を読む(5) 第11回 『堤中納言物語』「このついで」を読む(6) 第12回 『堤中納言物語』「このついで」を読む(7) 第13回 『狭衣物語』について—概説。 第14回 『狭衣物語』(抜粋)を読む(1) 第15回 『狭衣物語』(抜粋)を読む(2)・まとめ			